

上川 龍之進

法学研究科・准教授

[研究]

第1に、日本学術振興会の委託研究「東日本大震災学術調査」の研究成果として論文2編を公刊した。これとは別に、福島第一原発事故後の原子力政策に関する論文1編も執筆した。前者の論文1編と後者の論文を英訳したものが、2017年度中に公刊される予定である。

第2に、政権交代期における政策の連続と断絶に関する共同研究(サントリー文化財団研究助成)の研究成果が論文集として刊行され、論文1編を寄稿した。

第3に、先進国における緊縮政策を比較する共同研究(科研費・基盤研究B)の研究成果として、日本の財政赤字に関する論文1編を公刊した。

第4に、台湾・政治大学での国際シンポジウムに出席し、日本政治と制度改革に関する研究報告を行った。本論文は2017年度中に公刊される予定である。

第5に、民主党政権の失敗について検討した英語論文1編を公刊した。

第6に、金融危機の比較研究(科研費・基盤研究C)およびリスク管理のプラットフォームの作成を目指す共同研究(科研費・挑戦的萌芽研究)についても研究を進めている。

[教育]

【大学院】

「政治過程論特殊講義／政治過程論」では、先進諸国の政治経済を分析した英語文献を講読した。「総合演習／特定研究(ヨーロッパ政治論)」では、現代ヨーロッパ政治に関する英語文献を講読した。「定性的研究の理論と方法」では、実証的な政治学の論文を書くうえで必要となる政治学の理論・方法論について学生が理解できるよう、それに関する大量の文献を講読した。

【学部】

「政治過程論」、「政治学の基礎」では、政治学の理論を紹介するにあたり、時事的な政治問題に関連付けながら、具体例をできるだけ多く挙げて説明している。「演習」では、1学期に専門書を講読し、2学期には、受講生が関心のあるテーマについて調査・研究を行った。11月には台湾・国立政治大学を訪問し、日本研究修士課程プログラムの学生と合同で研究発表会を催した。最終的に受講生1名が、研究成果を論文にまとめて、青雲会の懸賞論文に応募した。

[管理運営]

法学部教務委員・広報委員を務めた。

[社会貢献]

第1に、NPO法人大阪府高齢者大学の「現代社会を考える科」にて「現代日本の政治状況」というテーマで、1回2時間の講義を3回担当した。

第2に、豊中市選挙管理委員会などが主催し、大阪大学(男女協働推進・社会学連携課)などが共催したイベント「18歳選挙権 何が変わるの? 未来でしょ!! ～模擬投票体験 夏に向けて～」にて「若者が投票に行く意義」と題する講演を行った。

第3に、第1回大阪大学豊中地区研究交流会での文理融合セミナー「放射線の発見と応用の歴史」にて「原子力政策の停滞:なぜ脱原発も原発再稼働も進まないのか」と題する講演を行った。